

平成27年2月16日

教科大好きプロジェクト 第3回算数・数学実践講座 開催！



教科のおもしろさや優れた授業実践を管内の小中学校に広め、先生方の指導力向上とともに、管内の学力向上に資することを目的として取組を進める「教科大好きプロジェクト」。第3回の算数・数学実践講座は、2月3日（火）に南丹市立殿田小学校において開催しました。

本年度、南丹教育局では、子ども達を「主体者」とする授業の実現を、教科を越える共通テーマとして管内に投げかけてきました。算数・数学科においては、そのために「算数・数学的活動」と「言語活動」の在り方を検討してきました。

これまでの算数・数学実践講座では、「算数・数学的活動」をキーワードに取り組み、今回は、算数・数学科教育における「言語活動」を切り口に講座を展開しました。本年度、協力員をお願いしている殿田小学校の塩見圭亮先生による授業公開の後、参

加の先生方が主体的に演習を進める形の講座となりました。

公開いただいた授業は、6年生算数「割合を使って」の単元です。全体量を1として、実際の具体量を使わず、「割合の和」をもとに問題を解く場面でした。

小学校の算数の中でも最も難しい学習の1つといえるところで

す。子ども達は、前時の学習で学んだ「全体を1とする考え方」を生かし、算数・数学的言語ともいえる線分図等を使いながら、互いの考えを交流し、答えを求めようとがんばっていました。

続く演習では、公開授業を素材として「算数・数学科における望ましい言語活動の在り方」について協議しました。

また、もう一つの演習として、算数・数学科において切っても切り離せない「算数・数学的活動と言語活動」について、具体的な「算数・数学的活動」を体験した後、グループで「言語活動の効果」についても考えました。参加の先生方からは、「公開授業をもとに指導を考える貴重な機会となった。」「改めて、言語活動の重要性と効果を感じる事ができた。」等々の感想をいただ



きました。

今回の講座で、本年度の「教科大好きプロジェクト算数・数学実践講座」は終了です。3回それぞれに「今、求められる算数・数学の授業づくり」に関わるテーマを設定し、体験的かつ実践的な内容を企画してきました。

参加の先生方からは、おおむね好評をいただき、今後の管内の算数・数学指導における実践的なヒントを発信できたのではないかと考えています。若手の先生方にも積極的に参加いただき、中には3回シリーズ全てに参加いただいた先生もいます。

本講座で、発信したヒントをもとに、算数・数学科教育が先生方のお力で益々充実し、管内の学力充実につながることを期待しています。

次年度も、いただいた様々な意見を参考に局としてもより効果的な事業の展開を検討してまいります。